

2021年7月26日

各位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 増田 要
 (コード番号: 8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古川 尚志
 問合せ先 取締役 企画本部長 花村 誠
 TEL: 03-6422-0530

2021年6月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人(以下「本投資法人」といいます。)の2021年6月度におけるホテルの運営状況につき、変動賃料等導入24ホテル(注1)合計の月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR及びRevPARを下記のとおりお知らせいたします。

なお、各ホテルの個別の運営実績につきましては、本投資法人のホームページ(注2)に掲載していますので、当該ホームページをご参照下さい。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うあるいは運営委託収入を得るホテルであって、ホテル賃借人等から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル/項目		6月度	対前年同月		累計(注10)	対前年累計		【ご参考】	
			増減(注9)	増減率		増減(注11)	増減率	対前々年同月比 増減率(注12)	対前々年累計比 増減率(注12)
変動賃料等導入 24ホテル合計	稼働率	32.0%	17.2%	116.4%	30.6%	-3.3%	-9.9%	-63.4%	-64.0%
	ADR (円)	9,822	-1,021	-9.4%	10,846	-2,515	-18.8%	-34.1%	-30.9%
	RevPAR (円)	3,148	1,542	96.0%	3,320	-1,217	-26.8%	-75.9%	-75.1%
	売上高 (百万円)	1,615	870	116.7%	9,478	-1,240	-11.6%	-66.0%	-66.5%
うちHMJ14ホテル	稼働率	29.8%	17.3%	137.9%	27.7%	-5.4%	-16.3%	-66.3%	-67.5%
	ADR (円)	11,424	-2,799	-19.7%	13,048	-2,174	-14.3%	-30.7%	-25.8%
	RevPAR (円)	3,410	1,626	91.1%	3,618	-1,427	-28.3%	-76.7%	-75.9%
	売上高 (百万円)	1,429	785	121.9%	8,313	-854	-9.3%	-64.8%	-65.4%

※2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響が大きいため、対前々年(2019年)比増減率を併せて記載しています。

<特記事項>

本投資法人が保有するホテルについて、変動賃料等導入24ホテル合計の2021年6月度のRevPARは、一部地域における緊急事態宣言等の影響を受け、前々年(2019年)同月比75.9%の減少となりました。

2021年7月度のRevPARについては、東京都及び沖縄県における緊急事態宣言発出・延長の影響はあるものの、夏のレジャー需要に加え、一部ホテルにおける東京オリンピック関連の需要もあり、現時点で、前々年同月比55%程度の減少と6月度からの改善を見込んでおります。

このようなマーケット下、各ホテルでは、ゲスト及び従業員への健康配慮や環境衛生管理に努めるとともに、コストマネジメントを徹底した運営を行っております。また、マーケット環境に見合った付加価値型商品や価格訴求型商品の展開等による足元の需要の取り込みや夏のレジャー需要獲得を企図した施策等で売上確保に努めております。

※本日現在、変動賃料等導入 24 ホテルのうち、下記ホテルにおいて臨時休館を実施しております。

ホテルオリエンタルエクスプレス大阪心斎橋 : 2020年4月20日から当面の間

ホリデイ・イン大阪難波 : 2020年12月6日から当面の間

※ザ・ビー池袋(2020年7月14日～)及び他一ホテル(注14)において、新型コロナウイルス感染症無症状者及び軽症者の受け入れを行っております。

-
- (注1) 変動賃料等導入24ホテルとは、HMJ14ホテルに、イビス東京新宿、イビス スタイルズ 京都ステーション、イビス スタイルズ札幌、メルキュールホテル札幌、メルキュールホテル沖縄那覇、メルキュールホテル横須賀、ザ・ビー池袋、ザ・ビー八王子、ザ・ビー博多及びザ・ビー水道橋を加えた24ホテルをいいます。また、HMJ14ホテルとは、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、オリエンタルホテル 東京ベイ、なんばオリエンタルホテル、ホテル日航アリビラ、オリエンタルホテル広島、オキナワ マリオット リゾート&スパ、アクティブインターシティ広島(シェラトングランドホテル広島)、オリエンタルホテル福岡博多ステーション、ホリデイ・イン大阪難波、ヒルトン成田、インターナショナルガーデンホテル成田、ホテル日航奈良、ホテルオリエンタルエクスプレス大阪心斎橋及びヒルトン東京お台場の14ホテルをいいます。
- (注2) 各ホテルの個別の運営実績につきましては、以下のホームページをご参照下さい。
<https://www.jhrth.co.jp/ja/portfolio/review.html>
- (注3) 上記の数値及びコメントは資産運用会社が貸借人等から提供を受けた数値あるいは情報に基づいて算出・作成したものです。コメントはあくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。
- (注4) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経っていないため、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものではなく、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意下さい。また、各月の売上及びその合計は、後に提出する有価証券報告書等に記載される各月の売上あるいは6ヶ月間及び年間の売上合計と一致しない場合があります。
- (注5) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注6) ADR：平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注7) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいいます。
- (注8) 客室稼働率については小数点以下第二位を、ADR、RevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- (注9) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- (注10) 累計とは期首(1月)から当該月までの累計値を記載しています。
- (注11) 対前年累計増減とは、期首(1月)から当該月までの累計値と前年同期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- (注12) 対前々年同月増減とは当該月と前々年(2019年。以下同じです。)同月との増減を記載しています。また、対前々年累計増減とは、期首(1月)から当該月までの累計値と前々年同期首から前々年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- (注13) 売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。
- (注14) 関係者の承諾が得られていないため、ホテル名を非公表としています。

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.jhrth.co.jp/>